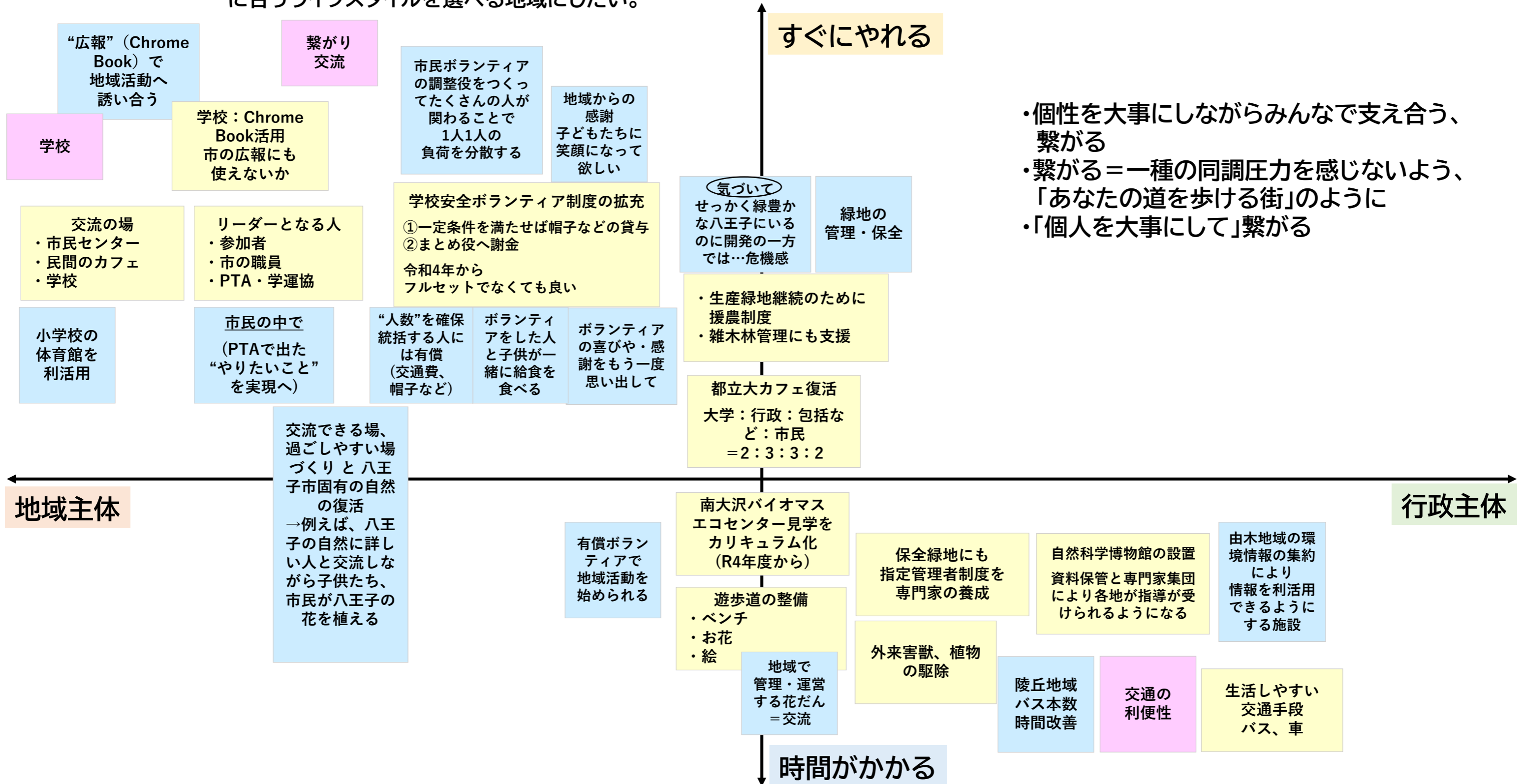


ありたい姿

個性でつながる・支え合う より取り“緑”のライフスタイル ～ひとりひとりの確かな居場所～

想い

八王子・由木地域には多様・魅力的な人・営み(制度・活動)・文化・自然があり、これらが守られ活かされることで、住民ひとりひとりにとっての自分の居場所が地域にできる。そのために、交流を通じて個人を尊重しながらつながり・支え合う関係性をつくり、各々が自分に合うライフスタイルを選べる地域にしたい。



■由木中学校区 A-1 【地域のありたい姿と必要なこと】

色々なメンバーで・繋がり・交流の場

子育て

出前講座
～ニーズに
合わせて～

ベビーマッ
サージをやっ
てもらえる&
講師として勉
強、パートも

【子育てママが
孤立しない】
・児童館以外にも
集える場所
・相談することが
できる場所
・ママ以外の目が必要

【子供からお年寄り
まで体を動かすこと
のできる環境】
・お互い目が届く所
でスポーツに限ら
ず活動できる場所
の整備
遊歩道など

【施設】
南大沢：会議室
市民センター
文化会館
生涯学習

予約統一

集う場所づくり
・空家利用
・食べる場所
・遊ぶ場所
防犯につながる

少子高齢化

子育てママは
相方向の世代
つなげる

学校給食
+
地域住民
=絆作り

教育 学校

【学校教育で
更なる環境保全意識を】
バイオマス・
エコセンターの見学
…地域の理解を深める

【CO₂削減の
ため】
自然エネル
ギーへの転換
間伐材の利用

大学

【若者とシニアの交流】
大学構内での
カフェの復活
(学外でも
よいが)

【今の子ども】
世代間交流の場

【年長者の方々の手
をお借りする】
・子供達が周りの人に関心
があまりない
・コミュニケーション不足
・お互いに歩み寄り、
知る必要がある

【世代間
つながり】
小学校の防犯
教育をあと押し

防犯

声掛け交流
～自主的な～

【つながりの強化：家族
から地域へ】
エンディングノート
作成支援をきっかけに
してあと押し

子どもたち
おじいちゃん
おばあちゃん
普段の接点

“防犯”“人間不信”
声を掛けられて
カタまってしまう

【安全な見守り】
町会を通して
とても有意義

環境市民会議
好きに参加
月に1回の
勉強会

【生物多様性保全】
いくつかの保全緑地にも
管理者を置く制度を作る
ボランティアも協力する「重要里地
里山500」に2か所指定(東京8地点)

【地産地消】
緑地の確保、
経済、CO₂削減、
都か田舎、
環境教育

生産物を
食べる場
⇒経済的な
効果も

【情報】
はちおうじ
出前講座
135種類

今ある講座
(いまあるも
の)を活かし
きれていない

自分たちで
企画する
自分たちで
参加する

集う場所の企業化
・生きがい(シニア)
・地域密着の職場
・学び、場所
・場所が複数あれば
多様なニーズに対応

同じ近所なのに声
を掛け合えてる？
(知らない人)

一方で(親)
知らない人は
無視の教育…

【生物多様性保全をすすめてい
くために】
雑木林の手入れ
水源地の保護
⇒田んぼ、湿地、池への水供給

ハチオウジ
アザミ
自生地の公有化

空家
じゅう害

【生物多様性保全】
市民への情報提供
研究者との交流
雑木林の手入れ、観察会を
市民に呼びかける

【緑地として】
生産緑地の維持
拡大を農家に
訴える

補助金
助成金の活用
今ではなく
持続的な
使い方!!

“八王子市”後
援は固い感じ
もっと気軽に
(イメージ)

必要な情報
『広報』は
見ない
⇒SNSなど

